

令和5年度 施策評価シート

施策の大綱	1. 快適さを支える生活基盤の向上	評価担当者
基本施策	(10) 歴史文化を生かしたまちづくりの推進	市民文化部長 小林 恵太
目指す姿	市民・事業者・行政が一体となって歴史文化を生かしたまちづくりを進めています。	
関連する分野別計画	亀山市歴史的風致維持向上計画(第2期)	

■ SDGs

基本施策に関連するSDGsのゴール	    
SDGs推進の考察	<p>企画展等を開催し、全ての世代の人々に様々な学習機会の提供を図ることができた。町並み保存事業において、持続可能な経済成長につながる環境・景観に配慮した歴史文化の保存に取り組むことができた。天然記念物ネコギギの飼育・繁殖を行うことで、希少生物の保全につながった。歴史的風致維持向上計画協議会や鈴鹿関跡学術調査専門委員会等と連携して事業を進めることで、様々なパートナーシップにより施策の推進を図ることができた。</p>

■ 関連する主な事業

(単位:千円)

施策の方向	事業名	上段: 予算額	実績・成果等
		下段: 決算額	
①	東海道街道環境整備事業	45,861	国の交付金を活用して、東海道へのアクセス道路である一目でわかるよう、舗装の美装化を行い、市民及び東海道街道への来訪者に東海道を中心とした沿道区域の魅力向上が図れた。
		45,861	
②	伝統的建造物群保存修理修景事業	35,382	伝統的建造物群保存修理修景事業を地域住民の協力を得て事業を適切に実施し、修理修景事業完了率が63%まで上がった。また、設計士等で構成されるNPO法人亀山文化資産研究会と連携した工事現場の公開を計画どおり実施し、事業への理解を深めた。
		35,372	
③	鈴鹿関跡学術調査事業	14,872	国史跡指定地の公有地化を行い、遺構の保存に努めた。また、総括報告書を刊行したほか、地形測量図を作成し、今後の調査・研究の基礎データを収集した。さらに、地元住民に対し、出前講座を実施し、鈴鹿関跡に対する住民の理解を深めた。
		14,593	
④	まちの記録編さん事業	5,139	平成以降の広報記事を抽出し、関係課から情報や画像の提供を得て、掲載する画像の抽出作業等を行った。また、執筆・撮影作業については一部ではあるが進めることができた。
		5,138	
①	歴史街道遺産活用事業	1,440	加太宿及び坂下宿のイラストマップの増刷を行い、公共施設等に配架し来訪者に広く配布するとともに、本宗寺本堂及び鈴鹿海軍工廠関防空工場跡に説明看板等を設置し、保存と活用を図った。
		1,440	
②	一般事業(町並み保存費)	1,933	全国伝統的建造物群保存地区協議会を通じて要望活動を行うとともに、関宿案内ボランティアと連携しながら、来訪者の満足度を高め、関宿の保存と活用を推進した。
		1,818	
③	指定文化財維持管理費	13,245	市所有文化財等の経常的維持管理を行うとともに、文化財保存伝承や文化財保護事業が進められるよう、補助金等の財政支援を行った。
		12,242	
③	一般遺跡調査事業	8,334	発掘調査や試掘調査を行うとともに、市が実施した発掘調査や試掘調査等によって出土した遺物等の整理を行った。
		8,214	
③	希少水生生物保護増殖事業	2,400	鈴鹿川水系におけるネコギギの生息確認調査や河川環境調査を実施し、生息の可能性がある範囲の経年変化を記録した。また、ネコギギの稚魚を秋に194個体放流して、保護増殖に取り組んだ。
		2,393	
④	企画展開催費	3,200	予定通りの展示本数を開催し、市内外から4,230人の展示観覧者に、地域の歴史的な出来事を収蔵資料を活用して伝え、歴史文化を学ぶ機会を提供できた。
		2,799	

太字: 主要事業

■ 成果指標

指標	単位	現状値		実績値				目標値	
				R4	R5	R6	R7		
1	街道沿道における文化財公開施設見学者数	人	24,476	R2	36,283	37,797			30,000
2	関宿重要伝統的建造物群保存地区内の街道に面した建造物の修理修景事業の完了率	%	59.0	R2	62.2	63.0			66.0
3	国・県・市の指定等を受ける文化財の数	件	136	R2	136	136			138
4	史資料を活用し学校や地域の歴史学習を実施した回数	回	—	—	102	136			120
5									
6									
7									
8									

■ 市民アンケート調査

項目	現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1 文化財や歴史的なまちなみが保存整備されている	重要度 0.83 満足度 0.21	0.92 0.34		重要度、満足度ともに高まっている点には、関宿の修理修景事業の進捗が寄与していると推察される。現在、目標値である66%の完了率に向けて、地域住民の協力のもとに順調に事業進捗が図られている。
2 歴史や文化をいかしたまちづくりが行われている	重要度 0.71 満足度 ▲ 0.15	0.82 ▲ 0.03		
3	重要度 満足度			
4	重要度 満足度			

■ 施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① 東海道を基軸とした歴史的風致の維持向上	関宿内道路の舗装の美装化工事を実施した。今後も舗装の美装化を実施し、街道の環境整備や文化財の保護に取り組み、東海道を中心とした街道の連続性や宿場間の一体感の確保に努める。
② 関宿重要伝統的建造物群保存地区の保護の推進	伝統的建造物等の修理修景事業を進めるとともに、消防との連携により地域とともに防災訓練を開催した。今後も地域の理解を得て伝統的建造物等の保存と活用を進めていく。
③ 鈴鹿関跡等の文化財の保存と活用	鈴鹿関跡の学術調査研究及び公有地化を進めるとともに、鈴鹿高校との連携によりネコギギの生息調査と保護増殖に努めた。今後も更なる文化財の保存と活用を進めていく。
④ 歴史資料の公開・活用による地域や学校との連携	企画展示や地域への出前講座、学校との連携等で、歴史資料の公開・活用を行った。今後も歴史テーマを検討しつつ、様々な機会を通じて歴史や文化を学ぶ機会の提供に努める。
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

<p>東海道を基軸とした歴史的風致の維持向上については、関宿内道路の舗装の美装化工事を実施するとともに、重点区域内の文化財案内看板を2件設置し、街道の環境整備や文化財の保護に取り組んだ。関宿重要伝統的建造物群保存地区の保護の推進については、地域住民の協力を得て事業を進め、修理事業を17件、修景事業を2件実施し、保存・活用を図るとともに適正に補助金を交付した。令和6年度、重伝建選定40周年を迎えるが、今後も更なる地域住民の理解醸成に努めながら、計画的に修理修景事業を進めていく必要がある。鈴鹿関跡等の文化財の保存と活用について、鈴鹿関跡は、学術調査専門委員会の指導のもと、総括報告書を刊行したほか、今後の調査、研究の基礎データとなる城山の地形測量図を作成し、全容解明に向けて事業を進める事ができた。また、特に重要な遺構の保存を進めるため、指定範囲内の約3,500㎡の公有地化を図ることができた。天然記念物ネコギギは、鈴鹿高校と連携して生息調査と保護増殖を行った。歴史資料の公開・活用による地域や学校との連携については、歴史博物館において、企画展や自由研究ひらば等を開催するほか、実物の収蔵資料を元にした授業等で活用・体験ができる「歴博貸出ユニット」の活用を促進するなどして、学校や地域等での歴史学習の機会を図った。まちの記録編さん事業については、平成以降の広報記事や画像の抽出と撮影作業を進めたが、令和6年度に刊行できるよう取り組みを進めて行く必要がある。</p>	<p>B</p> <p>まずは進んだ</p>
---	-------------------------------

今後の展開方針

<p>東海道を基軸とした歴史的風致の維持向上を図るため、街道の環境整備や文化財の保護に取り組むとともに、伝統的建造物群保存修理修景事業については、引き続き住民の協力を得ながら計画的に修理修景事業の進捗を図り、適正な補助金の交付を行う。文化財の保存と活用については、鈴鹿関跡の全容解明に向け、城山の地形測量を行いつつ、分析を進める必要があるほか、天然記念物ネコギギの生息調査と保護増殖について、関係機関と連携のもとに進める。歴史的資料の公開・活用による地域や学校との連携については、今後も企画展示や地域への出前講座、学校との連携等、様々な機会を通じて歴史や文化を学ぶ機会の提供に努める。また、まちの記録編さん事業については、令和6年度の刊行に向けて、文章執筆や撮影等を進め、進捗管理を行い、記録の編さん作業を行っていく。</p>
